

5-1 | 日本語表記

基本原則 ● 日本語の表記については、原則として正式名称の次に通称および愛称等を併記する。

1. 国文法、現代かなづかいによる表記を行なう。ただし、固有名詞においてはこの限りではない。
2. 正式名称のほかに愛称などがある施設は、正式名称の次に括弧内に併記し、地域において統一した表記を使用する。ただし、施設のホームページやパンフレットなどで用いている愛称が既に一般化した施設については、愛称に正式名称を併記することができるものとする。
これらの表記方法については、施設管理者と十分協議の上決定する。また、盤面の広さの制約がある場合、正式名称・愛称のどちらか1つの表記を行っても良い。

表記例●正式名称と愛称併記の例

<u>新潟市芸術文化会館</u>	<u>(りゅーとぴあ)</u>
正式名称	愛称
<u>新潟市歴史博物館</u>	<u>(みなとぴあ)</u>
正式名称	愛称

3. アルファベットによる名称が慣例化されている場合は、それを用いてもよい。

表記例● JR NTT

4. 数字の表記は、原則として算用数字を用いる。ただし固有名詞として用いる場合はこの限りではない。
また、○丁目のように地名として用いる場合には漢数字を使用する。

表記例● 5月5日 第一分館 花園一丁目

5. 紀年は西暦により表記する。必要に応じて日本年号を付記してもよい。

表記例● 2006年 2006年(平成18年)

6. 固有名詞の簡略化

案内誘導情報として表記する場合に、表示対象の施設名がスペースに対して長すぎる場合、日常的に呼称されている名称を考慮し、明確に識別できる範囲で名称を簡略化して表記してもよい。

表記例● 新潟大学医歯学総合病院 → 新大病院
新潟市美術館 → 市美術館

5-2 外国語表記

基本原則●外国語の併記にあたっては、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ハングル、ロシア語の4ヶ国語5言語併記を原則とする。ただし盤面の大きさや必要性に応じて、英語併記も認める。大文字・小文字の使用区分は、頭文字のみを大文字とし、他は小文字とする。原則として、正式名称の次に愛称等を併記するが、盤面に余裕がない場合は、簡略化する。

正式名称でその施設機能が分かりづらいものは、施設管理者と協議の上で表記を決定する。

1. 固有名詞はローマ字で、普通名詞部分は英語に直して表記する。

表記例●

白 山 公 園 = Hakusan Park
固有 普通

新 潟 市 = Niigata City
固有 普通

注: Niigatashi（全体を固有名詞と見た場合の例）

古 町 = Furumachi (○)
固有 Furu Town (×)

萬 代 橋 = Bandai Bridge
固有 普通

昭 和 大 橋 = Shouwa Bridge
固有 普通

千 歳 大 橋 = Chitose Bridge
固有 普通

2. 日本語のローマ字表記についてはヘボン式を用いる。

表5-1 ■ヘボン式ローマ字つづり一覧表

あ A	い I	う U	え E	お O
か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ SA	し SHI	す SU	せ SE	そ SO
た TA	ち CHI	つ TSU	て TE	と TO
な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は HA	ひ HI	ふ FU	へ HE	ほ HO
ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や YA	い I	う YU	え E	お YO
ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ WA	い I	う U	え E	お O
ん N(M)				
が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ ZA	じ JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ DA	ぢ JI	づ ZU	で DE	ど DO
ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
きゃ KYA		きゅ KYU		きょ KYO
しゃ SHA		しゅ SHU		しょ SHO
ちゃ CHA		ちゅ CHU		ちょ CHO
にゃ NYA		にゅ NYU		にょ NYO
ひゃ HYA		ひゅ HYU		ひょ HYO
みゃ MYA		みゅ MYU		みょ MYO
りゃ RYA		りゅ RYU		りょ RYO
ぎゃ GYA		ぎゅ GYU		ぎょ GYO
じゃ JA		じゅ JU		じょ JO
びゃ BYA		びゅ BYU		びょ BYO
ぴゃ PYA		ぴゅ PYU		ぴょ PYO

(注1) 長音を表すために、上記の『ヘボン式表記』に加え「OH」による記載も認める。

(注2) ふぁfa等ヘボン式にないものは、英語の言語表記を採用し、それ以外はその都度判断する。

3. 固有名詞のみによる英語表記にはローマ字のつづりの後に～River、Lake～等の意味が伝わる英語を補足する。ただし、Mt.Fujiのように上記のような表記方法でない方法が定着しているものについてはこの限りではない。

表記例●	<u>西</u> 川	=	Nishikawa River
	固有		
	<u>新</u> 川	=	Shinkawa Rive
	固有		
	※以下は例外		
	<u>信濃</u> 川	=	Shinano River
	固有	普通	
	<u>阿賀野</u> 川	=	Agano River
	固有	普通	

4. 町名は切り離さずにひと続きに表記する。
ただし「〇丁目」はアラビア数字のみの表記とする。

表記例●	<u>万代一丁目</u>	=	Bandai 1
	固有		

5. 略語が慣用化されている場合は略語を用いることができる。

表記例●	Niigata Station	=	Niigata Sta.
	Niigata University	=	Niigata Univ.

6. 施設機能が理解できる表記を工夫する。

表記例● 水 上 バ ス = Shinano River Cruise
ア ク ア パ ー ク = Aqua Fitness Center “Aqua Park”

7. 本マニュアルでは4ヶ国語5言語併記として「英語」、「中国語(簡体字・繁体字)」、「ハングル」、「ロシア語」を原則とする。

現在、中国大陸では「簡体字」、台湾では「繁体字」が使用されている。中国語を併記する場合には両方を併記し、盤面に余裕がない場合は「簡体字」を用いる。

なお、ピクトグラムで代用可能な場合には全てそのように表示してもよい。

8. 長音を表す『ー』『〜』は使用しない。

表記例● 大 形 = Ogata あるいは Ohgata
神道寺 = Kandoji あるいは Kandohji
河 渡 = Koudo あるいは Kohdo

9. はねる音『ん』はnで表す。

表記例● 萬代橋 = Bandai Bridge

10. はねる音（撥音）を表すnと次にくる母音字またはyと切り離す必要がある場合には、nの次にアポストロフィー『』を入れてもよい。

表記例● 上 新 栄 町 = Kamishin'ei-cho
関 屋 金 衛 町 = Sekiyakin'ei-cho

11. つまる音（促音）は、最初の子音字を重ねて表す。ただし、次にchが続く場合にはcを重ねずtを用いる。

表記例● 学 校 町 = Gakko-cho
沼 垂 = Nuttari
悉 地 院 = Sitchi-in 注 沼垂の寺院名称

12. 普通名詞部分は英語に訳して表記する。

表記例●
新 潟 市 役 所 = Niigata City Office
固有 普通
新 潟 駅 = Niigata Station (Niigata Sta.)
固有 普通

13. 通り・町名は、cho、dori、koji等とする。cho、dori、koji等は固有名詞部分とハイフン『-』で結び、ハイフン等で結ばれたcho、dori、kojiは小文字で書き始める。dori等の後にSt. (=Streetの省略形)をつけAvenue、Street、Boulevard等の表記は行わない。

表記例●	西堀通	=	Nishibori-dori St.
	南浜通	=	Minamihama-dori St.
	砦谷小路	=	Masaya-koji St.
			注 Masaya-koji Avenue (不可)

14. 町、通りが同時に使われる場合には、最後のもののみハイフンを用い、それ以前のものには用いない。

表記例●	学校町通	=	Gakkocho-dori St.
	湊町通	=	Minatomachi-dori St.

15. 寺院、寺社は次の例による。

表記例●	白山神社	=	Hakusan Shrine
	蒲原神社	=	Kanbara Shrine
	西方寺	=	Saihoji Temple

主な表記例を次頁の「一覧表」に示す。

表5-2 ■日本語および英語・外国語表記の例

日本語表記	外国語表記 ※中国語については上段:簡体字、下段:繁体字		備考
東北電力ビッグ スワンスタジアム 略称:東北電カスタジアム、 または東北電力ビッグ スワン	英語	Tohoku Densyoku Big Swan Stadium	名称変更の可能性がある。
	中国語	东北电力大天鹅体育场 東北電力大天鹅體育場	
	ハングル	도호쿠전력빅스완스타디움	
	ロシア語	Стадион «Тохоку Дэньрёку Биг Сван»	
朱鷺メッセ	英語	Toki Messe	新潟コンベンションセンター(国際展示場、国際会議場等)と万代島ビル(民間ホテル、オフィス、県立万代島美術館)からなる複合施設の正式名称。スペースの余裕があり機能を示す場合にはInternational Convention Complexの付記が可能とする。
	中国語	新潟国际博览中心 新潟國際博覽中心	
	ハングル	도키메세	
	ロシア語	Токии Мессе	
新潟市 産業振興センター	英語	City Convention Center	※Niigataはつけない。以下同じ
	中国語	新潟市产业振兴中心 新潟市產業振興中心	
	ハングル	니이가타시 산업진흥센터	
	ロシア語	Городской центр развития промышленности	
新潟市民芸術文化 会館(りゅーとぴあ)	英語	City Performing Arts Center' Eutopia'	
	中国語	新潟市民艺术文化会馆 新潟市民藝術文化會館	
	ハングル	니이가타시민 예술문화회관(류토피아)	
	ロシア	Театрально-концертный комплекс г. Ниигата «Рютосия»	
白山公園	英語	Hakusan Park	
	中国語	白山公园 白山公園	
	ハングル	하쿠산 공원	
	ロシア語	Парк Хакусэн	
新潟市歴史博物館 (みなとぴあ)	英語	City History Museum' Minatopia'	
	中国語	新潟市历史博物馆 新潟市歴史博物館	
	ハングル	니이가타시 역사박물관(미니토피아)	
	ロシア語	Исторический музей «Минатоппия»	

日本語表記	外国語表記 ※中国語については上段:簡体字、下段:繁体字		備考
新潟市水族館 (マリンピア日本海)	英語	City Aquarium "Marinepia"	※“Marinepia”のeに注意
	中国語	新潟市水産館 新潟市水族館	
	ハングル	니이키어스 수족관 (마린피아 니폰카이)	
	ロシア語	Городской океанариум «Миякотава»	
日本海タワー	英語	Sea Of Japan Tower	あるいはSea Of Japan Tower (Observatory)
	中国語	日本海塔 日本海塔	
	ハングル	니혼카이 타워	
	ロシア語	Смотровая башня «Японское море»	
佐渡汽船	英語	Sado Kisen Ferry Terminal	
	中国語	佐渡汽船乗船處 佐渡汽船乗船處	
	ハングル	사도 키센 승선장	
	ロシア語	Паром «Садокисен»	
北海道航路 フェリーターミナル	英語	Hokkaido Ferry Terminal	
	中国語	北海道輪渡乗船處 北海道輪渡乗船處	
	ハングル	홋카이도 링크 페리 터미널	
	ロシア	Прчал паром Хоккайдо	
水上バス	英語	Shinano River Cruise	
	中国語	信濃川水二遊船乗船處 信濃川水二遊船乗船處	
	ハングル	시니노강 수상버스	
	ロシア語	Прогулка по реке Сивано	
新潟市 亀田総合体育館 (アスパーク)	英語	Kameda Gymnasium	※Sogoはつけない
	中国語	新潟市亀田総合体育館 新潟市亀田総合体育館	
	ハングル	니이카타키 카메다 종합 체육관 (아스파크)	
	ロシア語	Дворец спорта Камэда	

日本語表記	外国語表記 ※中国語については上段:簡体字、下段:繁体字	備考	
アクアパーク にいがた (新潟市ふれあい 健康センター)	英語	Aqua Fitness Center' AquaPark'	
	中国語	新潟嬉水乐园(新潟市健康交流中心) 新潟嬉水樂園(新潟市健康交流中心)	
	ハングル	아쿠아파크 니이가타 (니이가타시 건강센터)	
	ロシア語	Центр водных развлечений, «Аквпарк» г. Niigata	
西総合 スポーツセンター (コスポ)	英語	Nishi Sports Center	
	中国語	西综合体育中心 西總合體育中心	
	ハングル	니시 종합 스포츠센터	
	ロシア語	«Коспо», Западный спорткомплекс	
新潟市生涯学習 センター 新潟国際友好会館 中央公民館 (クロスパルにいがた)	英語	Lifelong Learning Center International Friendship Center Chūō Citizens' Public Hall	3施設を入れる
	中国語	新潟市社会教育活动中心 新潟国际友好会馆 中央公民馆 新潟市社會教育活動中心 新潟國際友好會館 中央公民館	
	ハングル	니이가타시 평생학습센터 니이가타 국제우호회관 중앙공민관(크로스팔 니이가타)	
	ロシア	Центр пожизненного образования. Международный дом дружбы (Кроспал Ниигата)	
天寿園	英語	Tenjuen Park	
	中国語	天寿园 天壽園	
	ハングル	텐쥬엔	
	ロシア語	Парк «Тэнцзюэн»	

日本語表記	外国語表記 ※中国語については上段:簡体字、下段:繁体字		備考
旧日本銀行 新潟支店長役宅 (砂丘館)	英語	Bank Chief's Historical Residence "Sakyu-kan"	
	中国語	原日本銀行新潟分行長官邸(沙丘館) 原日本銀行新潟分行長官邸(沙丘館)	
	ハングル	구 일본은행 니이카타 지점장 직책(사쿠칸)	
	ロシア語	«Сакэкан», Дом бывшего главы Ниигатского Филиала банка Японии	
やすらぎ堤	英語	Shinano Riverside Promenade	機能が理解できるように 表記している。 これまではYasuragi Embankmentと表記
	中国語	休闲堤 休闲堤	
	ハングル	야스라기 둑	
	ロシア語	Набережная р. Синано	
北方文化博物館	英語	Northern Culture Museum	
	中国語	北方文化博物館 北方文化博物館	
	ハングル	북방문화박물관	
	ロシア語	Музей северной культуры	
万代シティ バスセンター	英語	Bandai City Bus Center	
	中国語	万代商业城公交车中心 萬代商業城公交车中心	
	ハングル	만다이시티버스센터	
	ロシア	Автобусный центр «Бандай»	
新潟駅前 バスターミナル	英語	Niigata Station Bus Terminal	
	中国語	新潟火车站前公交车乘车处 新潟火车站前公交车乘车处	
	ハングル	니이카타 역전터미널	
	ロシア語	Привокзальный автобусный терминал	

5-3 文字のスケールと指定書体

1 文字のスケール

文字やピクトグラムのスケールについては、視認性を考慮して高齢者や目の不自由な方にも判読しやすいよう、できるだけ大きいスケールで表現し、設定された文字のスケールをもとに、案内標識の形状、掲載する情報内容や量を調整する。また、外国語の表記は長くなることが多いので、極力省略型を用いる。

なお、英語および他の外国語は日本語の3/4程度、ピクトグラムは英語の3倍（日本語の9/4=2.25倍）以上の大きさが標準である。

表5-3 案内・誘導サインの標準的な文字のスケール

視距離	和文文字高	英文文字高 ※和文の3/4程度 (中、ハングル、ロシア語も同様)
30mの場合	120mm以上	90mm以上
20mの場合	80mm以上	60mm以上
10mの場合	40mm以上	30mm以上
4~5mの場合	20mm以上	15mm以上
1~2mの場合	9mm以上	7mm以上

表5-4 地図内の標準的なピクトグラムと文字のスケール

地図のサイズ	ピクトグラム	和文	英文文字高 ※和文の3/4程度 (中、ハングル、ロシア語も同様)
凡例部表示	24.0mm	10.5mm	8.0mm
特大サイズ(1m角以上のサイズ)	—	18.0mm	14.0mm
大サイズ(1m角程度)	21.0mm	9.0mm	7.0mm
中サイズ(縦横50cm前後)	16.5mm	7.0mm	5.5mm
小サイズ(縦横30cm以下)	12.0mm	5.0mm	4.0mm

(注1) 案内所、情報コーナー、県庁、市役所、区役所、美術館・博物館、ホールなど移動の目的となる主要施設においては、大サイズを用いることが望ましい。

2 指定書体

2-1) 基本書体

ゴシック体を基本とする。

●主として使用する書体

和 文 —— 新ゴシック体

英字・数字 —— ヘルベチカライト

●長い表記でスペースに入らないときは、長体2または3として調整する。

※旧版で使用の写植書体については、現在ほとんど用いられなくなっており、使いやすく汎用性のある基本書体を採用する。

2-2) 補助書体

地図表記、解説案内文で限定的に使用する。

和 文 —— 明 朝 体

あア安

なたさかあナタサカア奈太左加安
にちしきいニチシキイ仁知之幾以
ぬつすくうヌツスクウ奴州寸久宇
ねてせけえネテセケエ襦天世計衣
のとそこおノトソコオ及止曾己於

指定書体:和文(新ゴシック体)

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
TUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
(;),:;!1234567890

指定書体:英文(ヘルベチカライト)

5-4 ピクトグラム

1 指定ピクトグラム

ピクトグラムは「絵文字」のことであり、単純化された図形により言葉に代わって情報を伝達できる。本マニュアルでは、交通エコロジー・モビリティ財団による「標準案内用図記号ガイドライン」（国土交通省監修）に示された標準案内用図記号125項目をピクトグラム表記の基準として採用する（資料編に掲載、参照）。

なお、特定の施設を象徴的に示す「シンボルマーク」は設置者で適宜考慮し使用する。

標準案内用図記号として策定されたピクトグラムの例

推奨度A

広域安全性及び緊急性に関わるもの、多数のユーザーにとって重要なもの及び移動制約者へのサービスに関わるものです。これらについては、図形を変更しないで用いることを強く要請します。



推奨度B

多数の利用者が通常の行動や操作をする上で、図記号の概念及び図形を統一することによって利便性が高まると期待されるものです。これらについては、図形を変更しないで用いることを推奨します。



推奨度C

多数の利用者が通常の行動や操作をする上で、図記号の概念を統一することが必要なものです。これらについては、基本的な概念を変えない範囲で適宜図形を変更して用いることができます。



図5-1 ■ピクトグラム

出展：「標準案内用図記号ガイドライン」（2001年交通エコロジー・モビリティ財団）

5-5 指定カラー

新潟市の都市サインは、特に支障のない限り、この指定カラーの中から選択するものとする。
見やすさから、色を多用することは極力避ける。



1. ベースカラー

文字、およびその盤面の地色、本体等に採用する基本的な色である。DICは参考指定。

1) 白●DIC G-1

メインカラーのコバルトブルーやグリーン、茶、地色として用いるグレーと対応して見やすく、識別性の高い色として採用する。

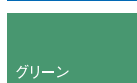
歩行者案内・誘導サインの施設誘導部分の文字の色、または盤面の地色として用いる。

2) 黒●DIC 582

案内・誘導サインほか一般的なサインの地色が白の場合、タイトル、文章等の文字の色として用いる。

3) グレー●DIC G-269

本体の色として採用する。また、文字が白の場合盤面の地色として採用する（塗装は三分づやとする）。



2. メインカラー

本体や支柱、バー、そして盤面の地色以外の模様など演出用に使用していく色として、以下の3色をメインカラー（基本色）として使用する。

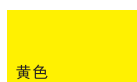
1) コバルトブルー（日本海の海の色）●DIC 890

「帆柱型サイン」の誘導表示部分の地色として用いるほか（その際の文字は白）、その他のサインにおいて盤面地色が白の場合は、文字の色としても用いることができる。

2) グリーン（田園の色）●DIC 395

3) 茶（新潟の大地）●DIC 303

グリーンや茶は「田園都市にいがた」を象徴する色として使用する。



3. その他の色

1) オレンジ（夕日の色）●DIC 566

アクセントや修飾的な色として用いる。

この他に各区のイメージカラーもアクセントカラーとして使用できる。

2) 赤色（シグナルカラー）●DIC 565

現在位置表示、および禁止を示す表示等、特に強調する文字の表示に使用する。

3) 黄色（アテンションカラー）●DIC 568

警告、注意等の注目を促す盤面や記号の地色に使用する。

4. 新潟市民のシンボルマークや区のイメージカラー

盤面に「新潟市民のシンボルマーク」や区の特産物を入れる際に使用できる。使用の際は、サイン全体の色調の調和に配慮する。

なお、新潟市民のシンボルマークについては「新潟市民のシンボルマーク使用マニュアル」を参照すること。

5-6 地図表現

1 案内図の縮尺と方位

案内図は歩行の補助となるものであり、各拠点の案内サインにおいて表示する。

ただしその大きさの目安は以下の表のとおりである。

なお周辺案内図等の1/2,500以下の縮尺の図を入れる場合には、1/10,000や1/25,000等の縮尺の図をあわせて表示し位置を確認しやすいようにする。

方位については一般的には北あるいは盤面を見て正面が上にくるが、実情やニーズに合わせて設置できる。ただし、同一地点で市街地図および周辺案内図の2つを設置する場合には、利用者が盤面を見て正面が上にくるように統一する。

表5-5 案内図の目安

拠点	範囲	縮尺の目安 盤面の大きさによるのでこれに制約されない	設置するサイン
交通大拠点	■広域案内図、あるいは 交通ネットワーク図 (道路網、鉄道、バスルート図など)	1/100,000	地区案内図あるいは 周辺案内図と併設が 望ましい
	■市街地案内図、地区案内図	1/10,000	
	■周辺案内	1/2,500	
交通拠点	■市街地案内図、地区案内図	1/10,000	
	■周辺案内図	1/2,500	1.5km四方を目安に (郊外部では2km)
分岐点	■市街地案内図、地区案内図	1/10,000	
	■周辺案内図	1/2,500	1.5km四方を目安に (郊外部では2km)

2 案内図の色彩

案内図に使用する色彩は、自然に見える色を採用する。海や河川、湖沼などは青、公園や緑地、丘陵などは緑、住宅地は肌色や薄茶系の色を採用する。

色の組み合わせは目の不自由な方に配慮し、図5-2のような「青と黒」「黄と白」「灰色と灰色」などの組み合わせを避け、判読性を確保する。

近似の色を使う場合には、明度差のある色を組み合わせる。

(5-7 掲出方法参照)

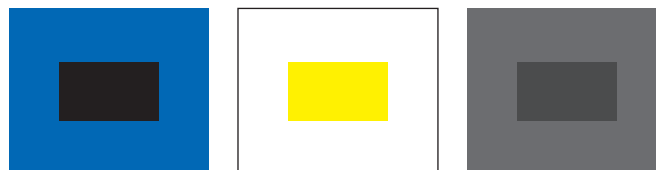


図5-2 避けたい色の組み合わせ

3 現在地の表示

すべての案内図には現在地表示を行う。
その形態と色は右記のとおりである。
なお、数値は比率である。
色は赤(DIC156)を基準色とする。



図5-3 現在地の表示

4 広域案内図

新潟市全域及び近隣市町村の位置関係を表示するとともに、交通網、各交通機関、主な観光施設等を案内する。基本的に盤面上部を北とする。



図5-4 新潟市全域の図例

5 地区案内図・市街地案内図など

各地区の案内を基本として、支所や公共施設、ランドマークとなる施設などを表示し、2.5～3km四方を基準とする。周辺案内図と併用する場合には、利用者が盤面を見て正面が上にくるように、周辺案内図にあわせて統一する。



図5-5 新潟市中心市街地図例

6 周辺案内図

現在地の周辺を案内するもの。

交通拠点または分岐点（現在地）を中心として、周辺案内図のカバーエリアは1.5km四方以上とする。ただし郊外部では、周辺案内のカバーエリアを2.0km四方以上としてもよい。方位は利用者が盤面を見て正面が上にくるようにすることを基本とする。



図5-6 新潟市中心部図例（約1.5km四方）



図5-7 ■ 名称や色の表記の事例 (地図の一部を切り取り)

5-7 掲出方法

歩行者用の案内・誘導サインにおける掲出の対象および掲出方法は、次の表による。

表5-6■掲出方法一覧表

項目	内容	基準色(DIC) 色名表示や空白は指定なし	案内図における掲出方法							誘導サインの掲出基準	外国語表記
			広域案内		市街地・地区案内		周辺案内				
			位置表示	文字表記	位置表示	文字表記	位置表示	文字表記	外形表示		
近隣都市			G	○	※	※	—	—	—	—	※
新潟市及び区			G	○	G	○	※	※	—	—	※
町丁名			—	—	—	○	—	○	—	—	※
水面	河川、海、湖沼	■ G-225	G	○	G	○	G	○	—	※	※
道路関係	高速道路	■ 緑	G	○	G	○	G	○	—	—	※
	インターチェンジ(白抜き○)	■ 緑白抜き	G	○	G	○	G	○	—	—	※
	国道・県道	■ 広域案内は313、市街地及び周辺案内はG-38	G	○	G	○	G	○	—	—	※
	市道	■ G-38	—	—	G	※	G	※	—	※	※
	主要道路の橋	■ G-38	—	—	—	○	—	○	—	※	※
交通機関・交通施設	鉄道路線	■ 白、黒	G	○	G	○	G	○	—	—	※
	鉄道駅	■ 白、黒	■	※	■	○	■	○	○	○	※
	新幹線駅(新潟駅)	■ 白、黒	■	※	■	○	■	○	○	○	○
	空港、港(旅客ターミナル)	■ G-144	●	○	■	○	■	○	○	○	○
	水上バス・水上バス乗場		—	—	■	○	■	○	—	○	※
	主なバス停留所		—	—	※	※	■	○	—	※	※
官公庁	県庁、市役所、区役所	■ G-144	■	※	■	○	■	○	○	○	○
	警察署・派出所、消防所、普通郵便局、税務署	■ G-144	—	—	■	※	■	○	○	○	○
	特定郵便局		—	—	※	—	■	—	—	—	△
	その他の官公庁	■ G-144	—	—	※	※	※	※	※	※	※
教育施設	大学	■ G-144	※	※	※	○	■	○	○	○	○
	高・中・小学校	■ G-144	—	—	■	—	■	○	○	—	※
	幼稚園、保育園		—	—	—	—	■	—	—	—	△

項目	内容	基準色(DIC) 色名表示や空白は指定なし	案内図における掲出方法							誘導サインの掲出基準	外国語表記
			広域内		市街地・地区案内		周辺案内				
			位置表示	文字表記	位置表示	文字表記	位置表示	文字表記	外形表示		
社会教育施設	図書館、公民館、コミュニティセンター	■G-144	—	—	※	※	—	○	○	○	○
文化施設	美術館、博物館、ホール	■G-144	—	—	※	※	■	○	○	○	○
福祉施設	社会福祉センター、老人福祉センター、老人憩の家、老人ホーム等	■G-144	—	—	●	○	—	○	○	○	○
その他 公共施設	国際友好会館	■G-144	—	—	●	○	—	○	○	○	○
	コンベンション施設	■G-144	—	—	●	○	—	○	○	○	○
医療施設	総合病院(注1)	■G-144	—	—	■	○	■	○	○	○	○
	保健所、休日診療所、保健センター	■G-144	—	—	※	※	※	○	○	○	○
	病院(注2)	■G-144	—	—	■	※	■	○	○	○	※
公園	主要な公園	■G-205	※	※	G	○	G	○	○	○	※
	その他の公園(街区公園等)	■G-205	—	—	—	—	G	※	○	※	※
観光施設等	観光・レクリエーション、スポーツ施設	■G-144	※	※	※	※	※	※	※	※	○
	東北電力スタジアム	■G-144	※	※	※	※	※	○	○	※	○
	史跡名勝、文化財等		※	※	※	※	※	※	※	※	※
商業施設	大型店舗(注3)	■G-144	—	—	※	※	—	○	○	—	※
宿泊施設	ホテル・旅館(注4)	■G-144	—	—	※	※	■	○	○	—	※
神社仏閣			—	—	※	※	■	※	○	—	※
その他	住宅団地等		—	—	※	※	—	※	—	※	※
眺望展・視点場	カメラ撮影ポイント		—	—	※	※	■	※	※	—	※
現在地	図5-3の現在地の表示による	■156	■	○	■	○	■	○	—	—	○

(注1) 総合病院: 患者100人以上の収容施設を有し、その診療科目に内科、外科、産婦人科、眼科及び耳鼻咽喉科を含み、医療法第22条にいう化学、細菌及び病理の検査施設等の法的施設を有する病院で都道府県知事が認可した病院。

(注2) 病院: 患者20人以上の収容施設を有するもの。

(注3) 大規模小売店: 第1種大規模小売店舗(売場面積1,500㎡以上)のもの。

(注4) ホテル、旅館: 原則として収容人員が100人以上のものを対象とするが、これ以下の規模であっても地域のランドマークとなっているものは対象に含める。

凡例				
区分	内容		記号	記号の意味
案内図における 掲出基準	位置表示	表示する 方法	■	色相、線などの図形表現で表示する
			●	丸アクセントで表示する
			■	ピクトグラムまたは地図記号等で表示する
		表示の有無	—	位置表示しない
	文字表記		○	文字表記の対象とする
			—	〃 の対象としない
			※	利用状況を考慮して設置者で判断する
	外形表示		○	建築平面の概略外形を表示する
			—	〃 を表示しない
			※	利用状況を考慮して設置者で判断する
外国語表記		○	4ヶ国語5言語併記とする＝英・中(繁体字、簡体字)、ハングル、ロシア語 ただし盤面の大きさや必要性に応じて英語・ローマ字を併記する	
		※	英語・ローマ字併記とするが、利用状況を考慮し4ヶ国語併記とする	
誘導サインの 掲出基準	誘導対象	○	誘導の対象とする	
		—	〃 の対象としない	
		※	利用状況を考慮して設置者で判断する	

■表の見方

「案内図における掲出方法」では、各案内図において、それぞれの掲出対象の地図表現の仕方を示している。また、「誘導サインの掲出基準」では誘導サインに、矢印とともに施設名称を表示し、誘導の対象とするかどうかについて示している。

なお、複数の機関で構成する官公庁の場合は、一般の利用者数等を考慮し、個々の官公庁名(例えば・・・省・・・局・・・事務所)として掲出するか、合同庁舎名として掲出するか判断する。

■外国語表記

外国語は、英語、中国語(簡体字を基本とし、必要に応じて繁体字)、ハングル、ロシア語の4ヶ国語5言語併記を基本とする。ただし、盤面の大きさや必要性に応じて英語・ローマ字を併記する。

■文字の強調

案内図において、特に主要な施設は文字を強調して表記する。

■ピクトグラムは資料編の標準案内用図記号125種を使用する。